

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 26 年 3 月 3 日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3470104625		
法人名	有限会社 百樹		
事業所名	高齢者総合福祉施設 なだの郷 グループホーム		
所在地	〒734-0053 広島市南区青崎二丁目16-15 (電話) 082-285-2787		
自己評価作成日	平成26年1月29日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_2013_022_kani=true&JigyosyoCd=3470104625-00&PrefCd=34&VersionCd=022
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	平成26年2月27日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

福祉ターミナルケアを実践しており、希望があれば当グループホームで最後まで過ごしていただけます。医療や家族と連携をとり、協力しながら介護でお手伝いできることを支援しています。温かい雰囲気・温かい職員がアピールポイントです。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

その人らしさを保ちながら、自然に日常生活が送れるよう支援している。
特に福祉ターミナルケアに重きを置き、医療セクションや家族と連携を図りながら職員一丸となった取り組みがなされている。
ご本人の希望に留意し、好きなものを最後まで口から摂れるよう、お茶をゼリー状にしたり等の工夫もされている。
職員においてはケア意識について話し合い、研修を重ねて介護の質を上げるよう努力している。
また、レクリエーションにも力を入れている。タオル体操では腕が上がるようになったという事例があるなど機能回復にも効果が出ていて、皆で楽しく、かつ元気に過ごせるようなアイデアも豊富である。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	基本理念 「福祉は人 人は心」を全職員が共有し、その意識を持って取り組んでいます。施設内研修でも取り上げ、新人職員にも指導・教育しています。	毎朝礼時に確認し、週一回社長出席の研修もあり、その理念は十分に活かされている。また、内容も申し送りとして記述し、全員で共有している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	地域の盆踊りや運動会、おみこしなど行事に参加させてもらったり、見学させてもらったりしています。地域の保育園や小学校の園児・児童が施設に交流に来てくれます。	近隣の小学校から、地域探検隊と称して訪問があったり、運動会に参加したり等の交流を促進している。お祭りの時には神輿が敷地内に入り、懐かしい風情も見られる。長年に亘る地域とのふれあいが定着している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	地域の相談窓口として、住民の方々の疑問に答えたり、介護保険のしくみや認知症などについての関わり方などアドバイスさせてもらってます。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	二か月に一度、地域推進運営会議を開催し、現状報告や地域の方々、地域包括支援センターなどからの意見・質問などを頂き、サービス向上に努めています。	運営推進会議を通じて、緊急時の対応等を刷新したり、活動に改善を加え、地域包括支援センターとも相談しながら、より良い支援に繋げている。町内会長、地域包括支援センター、民生委員の出席も盛んで、地域との熱心な取組みが伺える。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	市・町とも連絡を取り、市・町・地域包括・近所の方々など、地域全体からの協力を頂きながら運営しています。	運営推進会議の議事録を送付したり、ケアマネージャーを通して、市担当者との連絡を密にしている。そうした協力関係のもと、見学者も多く、地域に根ざしたつながりを大切にしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>外部研修にも参加し、施設内研修も行っています。全職員が禁止行為を理解し、拘束しないケアをおこなっています。</p>	<p>一人ひとりの意思を尊重しながら様子を見ている。例えばドアのノブを触る等、外出希望が見受けられた際には「公園でも行ってみましょうか？」の声かけや気配りを忘れないよう職員の介護意識の啓発にも心がけている。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>外部研修にも参加し、施設内研修を行っています。何気ない言動が虐待になりうる。その内容を全職員が理解している。何か気づきがあればすぐに報告するよう指導しています。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>施設内研修を行っています。制度やしくみなど勉強し、知識の向上・支援につなげています。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>十分な説明を行い、入居者や家族に不安や疑問が残らない様努めています。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>「皆様の声」という意見要望箱を設けています。会話の中での意見・要望なども参考にし、向上につとめています。</p>	<p>家族との連絡は頻繁になされている。年2回の家族会議での意見の反映に努めている。 趣味を活かしたプラン作りなど入居者の日々の時間の使い方を工夫している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>常日頃から職員の意見や提案に耳を傾けています。半年に一度、個人面談を行い、職員の思いの把握に努め、反映につなげています。</p>	<p>職員間での意見も出やすい雰囲気がある。各職員それぞれの目標をリストにし、その達成へのモチベーション維持に取り組んでいる。施設合同会議を設け、施設長参加のもと、全体としての意識向上に努めている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>自己評価を定期的に行い、個人面談を行っています。それを生かしながら整備につとめています。各自目標を立てて勤務にあたってもらっています。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>個々に適したステップアップになる、外部研修に参加してもらっています。週に一度の管理者会議で、管理者教育も行っています。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>グループホーム管理者同士で、交流をもち、ケアマネジャーの講習などでもネットワークをつくり、勉強しています。</p>		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>慣れない場所に来られた入居者に対して、しっかり関わり、笑顔で接することで、不安や寂しさを取り除き、要望などを聞き出せる信頼関係づくりに努めています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>初期、わかりやすく説明を行い、家族からの話にも十分対応し、信頼関係を築ける様努めています。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>初期、事前に入った情報に加え、本人を観察したうえで、何が必要なのか、急を要するのかなどを見極めて、ケアプランをたて、相談・対応に努めています。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>施設を自宅・職員を家族と思って安心して過ごしていただける様信頼関係作りに努めています。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>面会に来てもらいやすい環境を作り、こまめな連絡をとり、意向を聞くなどの関係に努めています。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>地域密着を念頭に置き、近所の公園やスーパーに共に出かけ、挨拶を交わし、穏やかに過ごしてもらっています。</p>	<p>元々、近所に住んでいた入居者が多いこともあり、知り合いもよく訪れ、地元ならではのつながりがある。外出時には公園で犬と触れ合ったり、スーパーで偶然旧友と再会し、旧交を温めたりすることもある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	職員が利用者同士の関わりをしっかりと観察し、カンファレンス会議などでも意見を出し合い、孤立・トラブルのないよう支援しています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	縁のあった関係を大切にしています。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	各入居者の担当者を設け、その担当者を中心に全職員が、その入居者を把握するよう努め、意向・状態に沿ってケアプランを立て支援しています。	家族との信頼関係を大切にしながら、担当者は入居者の表情や生活ぶりを丁寧に観察し、より良い人間関係構築の為に普段から少しずつでもコミュニケーションをとるよう努めている。	家族に対して、支援内容を配信することで、施設としての支援体制を積極的にアピールし、併せて職員の意識向上に期待します。
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	契約前から情報収集し、グループホーム入居後、馴染みのある暮らしや趣味活動が出来るよう支援しています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	日々変化していくため、目配り・気配りを心がけ、変化に気づける様努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>変化時や介護度の変更時など、アセスメント・カンファレンス・新ケアプランに沿って行い、プランが適しているのかを常時モニタリングしています。</p>	<p>ケアマネージャー、医師、家族、施設長を含めたケアチームで、プランニングの為のアセスメント、カンファレンスを随時実施している。</p> <p>状態の変化時には速やかに対応できるようにモニタリングを常時行うようにしている。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>記録を残し、口頭でも話し合い、変化や見直しの必要があれば、計画を立て直し、支援を実践し、モニタリングしています。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>柔軟な支援ができるよう、多機能化に取り組んでいます。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>地域の行事に参加する機会を多く作るよう努めています。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>家族とも十分話し合い、適切な医療を受けられるよう支援しています。家族からの情報の交換が多く出来るよう、常に心がけています。</p>	<p>家族の付き添いのもと、掛かり付け医で受診し、施設では毎月曜日に医師の往診がある。</p> <p>通院介助などの情報も家族と共有している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	<p>情報をまとめ、伝える。看護師からのアドバイスや注意点などもしっかりと聞き、支援にいかしています。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>信頼関係作りに努めています。持っている情報を適切に伝え、情報交換の時にはお互いに確認しあい、疑問点や注意点などの確認を随時しています。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	<p>医療に加え、家族とも連絡共有し、共通した目標をもとに、全職員がとりくんでいます。本人・家族の意向を大切に考えています。</p>	<p>福祉ターミナルケアについては契約時に家族に説明し、本人も含めた意思確認をしている。医療との連携や全ての職員による支援体制が築かれており、発生する課題を次のステップへつなげている。残された家族の心のケアにも配慮がなされている。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	<p>施設内の研修を行い、マニュアルをもうけ、記録や事故防止委員会を行い情報共有しています。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	<p>定期的に防災訓練や研修を行っています。消防署にも訓練指導を行ってもらっています。</p>	<p>施設合同の訓練に加え、定期的に消防署の協力を得ての質の高い訓練、研修を行っている。普段からの地域のつながりをベースに危機管理への協力体制が構築されている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	対応についての研修を行い、職員同士でも注意しあうよう努めています。	各々の意識改革の他、一人ひとりの職員に合わせた研修をコンスタントに続けることにより、実際に効果が表れている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	気配り・目配り・手配りで、入居者の言葉に出さない内面に気づき、表現出来るよう努め、本人の意向を尊重できるよう努めています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	職員のペースにならないよう心掛けながら、支援しています。無理強いのない支援を心がけています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	朝の整容・衣類の乱れや汚れがないか配慮しています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	出来るところは本人にさせていただき、楽しく食事できるよう席の配置や環境づくりに工夫しています。	入居者が出来る範囲で食事の後片付けなどの手伝いをしたり、一緒にふれあえる雰囲気作りの工夫をしている。また菜園では野菜や花を育てたり、ご近所から頂いた野菜も加えて、季節ごとの食卓を豊かにしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>摂取量を把握し、十分な接種が出来ない場合は食事形態を変えたり、好みの食べ物を提供しています。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>自分で上手くできない細かい部分などは、介助に入っています。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>パターンの把握に努め、自立を促す支援を行っています。</p>	<p>排泄表の作成、チェックを行い、夜間の転倒防止を心がけながら自立の支援に努めている。 入居者の殆どがオムツなしでトイレでの排泄を済ませている。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>乳製品を取っていただいたり、体操や腹部のマッサージで予防に取り組んでいます。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めず，個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>基本的な入浴曜日の設定はしているが、それに加えその時の状態に合わせて、入浴支援を行っています。</p>	<p>週に2～3回のマンツーマン入浴で、時に応じて足湯も行っている。 午前中を基本とし、入居者の体調に合わせて調整している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	日中の活動や精神的な安定をはかり、夜間快眠できるよう工夫しています。日中でも、適時体調をみながら休息時間を設けたりしています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	医療と連携を取り、疑問点はすぐに問い合わせ、アドバイスをもらいながら変化の観察・支援をしています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	それぞれの役割を見つけ、メリハリのある生活となるよう心掛けています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	外の空気を吸ったり、外部とのかかわりを持つことで、気分転換を図れるよう支援しています。家族とも連携し、本人の意向に沿えるよう努めています。	小グループに分かれて近所へ散歩、買い物に出かけ、外部とのふれあいに努めている。	少しの時間でも外気に触れるチャンスを増やす工夫をしたり、また目につくところに外出記録の掲示を期待します。
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	それぞれの適した方法を見極め支援しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>状態を見て、電話をかけたり、レターセットや、ハガキを準備し手紙を書いていただける様にしています。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>季節感のある飾り物をしたり、歌を歌ったり、温かい空間となるよう工夫しています。</p>	<p>落ち着いた雰囲気のリビングでは、食事時に流れる心和むBGMに合わせて口ずさむ姿も見られて、居心地の良いスペースとなっている。</p> <p>他の共有空間も清潔に保たれている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>座席の配置を考え、その時々にあわせたレイアウトにするなど、空間に配慮しています。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>ご利用者の思いのあるものは持ってきていただき、自室に置き、それについての話をしたりして、会話を増やしたり、本人の好みを尊重するよう心掛けています。</p>	<p>シンプルなしつらえの中にも、入居者の個性を大切にしたり、その人らしい生活スタイルが送れるよう配慮がなされている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>出来ることには手を出さずに、本人の難しい部分を支援し、職員によってケアにムラが出ない様心がけています。</p>		

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらい ③利用者の3分の1くらい ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 高齢者総合福祉施設なだの郷
グループホーム

作成日 平成26年3月31日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	49	外出支援を心がけているが、少ない傾向にある。また、外出した報告を家族にできていない。	沢山の外気に触れ、季節を感じて頂きリフレッシュしていただく。ご家族にも報告する。	運動会、祭りなど地域の行事に積極的に参加。お花見や散歩、買い物などでも外部と触れ合う写真や手紙でご家族にも報告する。	3ヵ月
2	38	一人一人のペースを尊重できてない時がある。職員の都合や、ペースになってしまうときがある。	どんな場合でも入居者のペースや意向を大切に出来る。	研修や経験、雰囲気作りにより、全体の介護の質を上げる。	6ヵ月
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。